

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	配水管改良事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	水道工務課					
施策	1-7	水需要に応じた水道事業の展開	主管課長	矢幡 哲夫					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市水道利用者	意図	老朽管や非耐震管を耐震管に改良することで、安全な水の安定供給を確保する。
事業内容	・重要給水施設配水管及び老朽管や漏水が頻発する配水管の布設替えと併せ、管路の耐震化を進める。			
事業開始から現在までの状況変化	・老朽管等の布設替工事を順次進めることで耐震化及び漏水等発生件数の低減を図っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	漏水等発生件数	346	470	394	件	↓↓↓
②	耐震管適合率	56.80	57.70	60.20	%	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
平成30年度末での耐震管適合率は管路総延長671kmに対して404km、60.2%である。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	518,166,960	467,088,120	480,518,320
事業費(b)(円)	511,576,560	459,839,160	476,299,440
うち一般財源	511,576,560	459,839,160	415,819,440
職員給与費(c)(円)	6,590,400	7,248,960	4,218,880
人役・職員(人)	0.96	1.08	0.64
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・老朽管や非耐震管を計画的に耐震管へ改良するとともに、更なる工事費の削減を図る。	③取組における課題(Check)	・既存の埋設管が輻輳している、交通量が多い、鉄道横断がある等、設計・施工の困難な工事が多い。
②H30に実施した取組(Do)	・本年度は2,430mの配水管改良工事を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	・設計に際しては常にコストダウンを意識した設計を心掛ける。